



発行所(〒371-8666) 前橋市古市町1-50-21  
上毛新聞社  
電話 市外局番(027)  
(編集)254-9933 (広告)254-9944  
(販売)254-3131 (事業)254-9955  
(印刷)254-9985 (出版)254-9966  
(〒7)254-9881 (発送)254-9984  
(総務)254-9977 (総合)254-9911  
©上毛新聞社 2007年

# 推進リーダー育成へ講座 来月から明大

## 来月からは認定 来月からは認定

# 栽培技術を

## 野菜生かし観光振興

# 全国に発信

明治大は十一月から、**婦恋村民**を対象に、農業で観光振興を推進するリーダーの育成講座を始めます。高原野菜の栽培技術やその価値を村内外に伝える人材を育成するのが目的。来年夏には、受講者を講師にした「明治大・婦恋アグリカレッジ」の開校も予定している。村は「明治大の人材育成のノウハウを借りて、グリーンツーリズムの推進や交流人口の増加につなげたい」としている。

社会人の再チャレンジを支援するため、文部科学省が本年度からスタートした「社会人学び直し

ニーズ対応教育推進プログラム」指定を受けて実施する。

「高原野菜栽培の指導人材育成プロジェクト」と題した講座では、シンポジウムなどを通して、村の良さを再確認や婦恋ブランドをさらに高める

ための方法、まちづくりの事例などを学ぶ。

参加者は、学習した知識や技術を本にまとめ、「婦恋アグリカレッジ」の教科書を作成。同大の学生を対象に農業指導をするなど、同カレッジの運営を見込んだ演習を行う

う。講座の修了者には認定証を授与。希望者には学習成果を生かす場として同カレッジの講師を務めてもらう方針。

同カレッジでは、農業体験の参加者や移住希望者、村内や近隣の別荘地に避暑にきている人などに、農作物の栽培方法などを教える。

同プロジェクトを進める水野勝之商学部教授は「浅間山の噴火という大災害を乗り越え、婦恋村には火山と共生する伝統的な農業がある。災害を力に変える技術を全国に伝えてるモデルにした」と話している。

同大と同村は、東京・千代田区でアンテナショップ「ふれあい神田市場」を共同経営。昨年からは同村今井で古民家の再生事業にも取り組んでいる。